

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	演習	
科目名	作業療法概論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)
対象学年	夜間部2年	学期	前期	教室名	803	
担当教員	林 辰博					
実務経験と その関連資格	<p>作業療法士として総合病院に勤務し身体障害領域に従事。 各種心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 職能団体理事・大阪市障がい支援区分審査員としても活動。 生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修講師 MTDLP実践者 臨床実習指導者講習会終了 臨床実習者指導者講習会講師</p>					
《授業科目における学習内容》	<p>作業療法士として働くうえで必要となる歴史・管理運営・理論・研究について学びます(知識・情意)。また、生活行為向上プラン演習シートや課題分析シート、クリニカルリーズニングで思考の流れを作ります。そしてそのプロセスを繰り返すことで技術として身につけてください。授業形式は、この2つを有効に活用するために少人数のグループで進めていきます。レポートを通じ考察力を身につけてもらいます。</p>					
《成績評価の方法と基準》	<p>定期試験 レポート 事前課題</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>①標準作業療法学 作業療法概論 第4版 ②作業療法マニュアル77 生活行為向上マネジメント 改訂第4版 ③ICF 国際生活機能分類</p>					
《授業外における学習方法》	<p>教科書を読み予習。歴史・研究・理論・管理運営についてはICT事前課題と終了後レポート。</p>					
《履修に当たっての留意点》	<p>基本的な知識はまず暗記をしましょう。最初は言葉を覚えるのと同じ感覚です。日々の授業を受ける態度は臨床につながります。背筋を伸ばして講義を受けましょう。授業の中では実演を多く取り入れる予定なので、授業内・外での積極的な演習を心掛けてください。レポート提出については詳細を随時、説明・掲示します。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	各プランの項目の内容を説明することが出来る。相応しいプランを考える事が出来る。アセスメントシートの内容に関するプランを考える事が出来る。	教科書①②③	生活行為向上マネジメント(教科書)生活行為プラン演習シートについて		
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習:生活行為プラン演習シート				
第2回	授業を通じての到達目標	課題個々の要因分析を記載することが出来る。	教科書①②③	生活行為向上マネジメント(教科書)生活行為課題分析シートについて		
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習:生活行為課題分析シート				
第3回	授業を通じての到達目標	課題個々の要因分析を記載することが出来る。アセスメントシートの内容に関するプランを考える事が出来る。5W1Hを意識したプランを立てることが出来る。	教科書①②③	生活行為向上マネジメント(教科書)生活行為プラン演習シートについて		
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習:生活行為課題分析シートGW MTDLP演習:生活行為プラン演習シートGW				
第4回	授業を通じての到達目標	作業療法発展に関わる人物について列挙し説明できる。	教科書①	作業療法概論教科書の通読 P.14~25 授業後レポート		
	各コマにおける授業予定	作業療法の歴史について I. 作業療法の紹介: ② 作業療法の歴史と原理				
第5回	授業を通じての到達目標	作業療法に研究が必要な理由について説明できる	教科書①	作業療法概論教科書の通読 P.109~119 授業後レポート		
	各コマにおける授業予定	作業療法研究法について III. 作業療法士の養成と教育: ③ 作業療法研究とエビデンス				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	作業療法における理論の役割・レベルを列挙し必要性について説明できる。	教科書①	作業療法概論の教科書の通読 P.74～83 事前課題：授業開始前に伝達 授業後レポート
	各コマにおける授業予定	作業療法の理論について II. 作業の分析と治療への適応：③ 作業療法の理論		
第7回	授業を通じての到達目標	観察したことを活動・運動の用語を使用し記載できる。 事実と考察(考えた事)を分けることができる。	教科書②	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	観察SOAP作成		
第8回	授業を通じての到達目標	観察したことを活動・運動の用語を使用し記載できる。 事実と考察(考えた事)を分けることができる。	教科書②	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	観察SOAP作成		
第9回	授業を通じての到達目標	事実と考察(考えた事)を分けることができる。 課題個々の要因分析を記載することができる。	教科書②	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	観察SOAP作成 生活行為課題分析シート		
第10回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージが出来る。	教科書①②③	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第11回	授業を通じての到達目標	作業療法部門の管理に必要なことを作業療法室の管理運営5項目を 参考に述べる事ができる	教科書①	作業療法概論の教科書の通読 P.231～257 事前課題：授業開始前に伝達 授業後レポート
	各コマにおける授業予定	作業療法管理運営について VI. 作業療法の管理運営：① 社会保障制度の理解、② 作業療法部 門の管理運営		
第12回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージが出来る。	教科書①②③	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第13回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージが出来る。	教科書①②③	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第14回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージが出来る。	教科書①②③	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第15回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージが出来る。	教科書①②③	作業療法マニュアル77 生活行為 向上マネジメント 改訂第4版 P.22～51
	各コマにおける授業予定	事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		